

# エコアクション21 環境経営レポート

活動期間：2018年4月～2019年3月



静岡トヨタ自動車株式会社

エコアクション21事務局

作成日2019年7月5日



## 目 次



NO	書類名称	ページ
1	会社概要	1~2
2	環境方針	3
3	環境管理実施体制（組織図）	4
4	環境管理実施体制における役割	5
5	環境目標と実績	6
6	環境活動計画	7~10
7	環境活動の取組み結果	11
8	環境活動の評価及び次年度の取組	12~13
9	環境関連法規制の順守状況及び違反、訴求等の有無	14
10	代表者による全体評価と見直し	15



## 会社概要



事業者名	静岡トヨタ自動車株式会社
設立	1946年11月1日（昭和21）
本社所在地	静岡市駿河区国吉田2丁目3-1
代表者名	代表取締役社長 太田 勝之
環境管理責任者	専務取締役 竹本 直人
資本金	3億円
従業員数	739名
売上高	455億8101万円 2018年度3月期
事業内容	新車販売・中古車販売・自動車の買取 自動車整備 損害保険・生命保険代理店業務 携帯電話等通信機器の販売
拠点 （44拠点）	トヨタ店32店舗・レクサス2店舗・U-Car4店舗 サービスセンター2拠点・配車センター・商品センター 本社（法人営業部）・ベッドルーム清水店
社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 静岡トヨタハイブリッド基金</li><li>・ 職業体験学習の受け入れ</li><li>・ 献血活動</li><li>・ 店舗「ボランティアタイム」</li><li>・ 地域清掃に参加</li><li>・ エコキャップ運動</li><li>・ 「トヨタソーシャルフェス」に参加</li><li>・ AEDを15店舗に設置</li><li>・ こども110番の店</li></ul>
環境事務局	総務人事部 総務室 TEL 054-264-7014 FAX 054-264-7107 ホームページ <a href="http://www.shizuokatoyota.co.jp">http://www.shizuokatoyota.co.jp</a>



# 会社概要 (拠点一覧)



店舗名	TEL	FAX	〒	所在地	延べ床面積(m <sup>2</sup> )
本社	054-264-7000	054-264-7107	422-8515	静岡市駿河区国吉田2丁目3-1	5,261

Λドライブ清水			424-0906	静岡市清水区駒越北町8-1 (Λドライブ清水内)	1838
---------	--	--	----------	-----------------------------	------

店舗名	TEL	FAX	〒	所在地	延べ床面積(m <sup>2</sup> )	
中部営業部	長沼	054-262-2111	054-262-2581	420-0813	静岡市葵区長沼南7-10	1,632
	静岡以外	054-281-7277	054-281-7393	422-8047	静岡市駿河区中村町320-1	803
	平和	054-253-8866	054-253-4813	420-0876	静岡市葵区平和1-6-17	981
	清水	054-366-2121	054-365-6498	424-0809	静岡市清水区天神2丁目2-4	917
	藤枝	054-641-0303	054-641-5321	426-0076	藤枝市内瀬戸523	1,120
	藤枝東	054-643-7777	054-643-7038	426-0001	藤枝市飯宿1677-1	855
	焼津	054-624-4711	054-624-6436	425-0066	焼津市大島673	599
	榛原支店	0548-22-6666	0548-22-6699	421-0421	牧之原市細江185	600
U-Car焼津	054-626-2221	054-626-2220	425-0088	焼津市大覚寺1丁目2-7	384	

東部営業部	富士 (U-Car富士課)	0545-53-6311	0545-53-6395	417-0047	富士市青島町273	1,611
	厚原	0545-72-0888	0545-53-6395	417-0047	富士市厚原107-2	595
	富士宮	0544-24-3131	0544-72-0707	418-0201	富士宮市舞々木100	1,539
	沼津	055-952-5200	055-952-4434	410-0022	沼津市大岡1527-1	1,067
	裾野	055-993-1231	055-993-0223	410-1124	裾野市水窪119-11	669
	御殿場	0550-83-1321	0550-83-5065	412-0039	御殿場市竈13-1	981
	三島	055-981-1855	055-981-2511	411-0843	三島市三好町286-2	1,400
	函南	055-979-4711	055-979-5031	419-0124	田方郡函南塚本242-5	1,479
	熱海支店	0557-82-3131	0557-82-3133	413-0032	熱海市梅園町30-6	425
	大仁	0558-76-5656	0558-76-5530	410-2316	伊豆の国市御門53-1	362
	伊東	0557-45-1212	0557-45-3574	414-0044	伊東市川奈1256-18	810
	下田	0558-22-3630	0558-22-3454	415-0028	下田市吉佐美918-1	483
U-Car三島	055-977-5336	055-977-5371	411-0816	三島市梅名287	43	

西部営業部	森田	053-441-2141	053-441-2148	432-8052	浜松市南区東若林町20-2	1,173
	志都呂	053-449-1411	053-449-1606	432-8067	浜松市西区西鴨江町670-1	1,510
	湖西	053-576-3235	053-576-3303	431-0442	湖西市古見1313	500
	和田	053-464-1711	053-463-2575	435-0016	浜松市東区和田町757	2,045
	寺脇	053-442-1511	053-442-3354	430-0841	浜松市南区寺脇町738	479
	葵町	053-437-0511	053-436-7618	433-8114	浜松市中区葵東2丁目25-45	1,384
	有玉	053-434-9100	053-434-9104	431-3121	浜松市東区有玉北町1187-1	937
	磐田	0538-35-2251	0538-35-2250	438-0078	磐田市中泉811-1	1,388
	浜北以外	053-588-6650	053-588-6651	434-0012	浜松市浜北区中瀬1880-1	1,396
	袋井	0538-43-6666	0538-43-6969	437-0065	袋井市堀越494-3	670
	掛川	0537-22-6281	0537-24-5487	436-0048	掛川市細田255-1	908
	小笠	0537-73-2222	0537-73-5638	437-1507	菊川市赤土1192-1	632
	U-Car有玉	053-432-5057	053-432-5059	431-3121	浜松市東区有玉北町808	407
	U-Car志都呂	053-415-1600	053-415-1601	432-8069	浜松市西区志都呂1丁目33-40	434

営業部 法人	第1・2営業室	054-264-7070	054-264-7003	422-8515	静岡市駿河区国吉田2丁目3-1	本社を含む
	第3営業室	053-555-0103	053-555-0104	432-8052	浜松市東区和田町757	和田店を含む
	第4営業室	055-976-2221	055-976-2781	411-0843	三島市三好町286-2	三島店を含む

サ リ ク	レクサス静岡駿河	054-285-0115	054-285-0112	422-8042	静岡市駿河区石田1丁目2-24	1,518
	レクサス和田	053-465-1000	053-466-0090	435-0043	浜松市東区宮竹町636	1,773

ア ス サ セ ン タ ー	静岡サービスセンター	054-264-7099	054-265-3396	422-8515	静岡市駿河区国吉田2丁目3-1	本社を含む
	浜松サービスセンター	053-460-7511	053-460-7566	435-0046	浜松市東区貴平町1733	906

配車センター	0548-29-0731	0548-29-0947	421-0412	牧之原市坂部110-12	1,264
--------	--------------	--------------	----------	--------------	-------

商品グループ	0548-25-0500	0548-25-0510	421-0402	牧之原市勝間字カラケン谷1285番地	605
--------	--------------	--------------	----------	--------------------	-----

総延べ床面積(m<sup>2</sup>)

44,729



# 環境方針



静岡トヨタ自動車株式会社

## 【基本理念】

静岡トヨタ自動車株式会社は、地域の皆様に愛され信頼される企業を目指し、「お客様第一主義に徹し、地域社会に奉仕する」という社是をかかげ、自動車を扱う静岡県内の企業として環境保全を中心に、環境改善取組みを積極的に取組みます。

## 【基本方針】

1. 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、全社員で継続的な環境改善行動を励行します。
2. 環境に関する法律・規則・協定等を遵守し、環境保全レベルの向上をはかります。
3. 環境保全は発生源対策が不可欠であり、事業活動のすべての分野で省エネルギー、節水、省資源、確実なりサイクルの推進と廃棄物の削減、化学物質の適正管理、汚染の予防に努めます。
4. 全社員に環境方針の理解と環境保全の向上、環境管理の励行をはかります。
5. 環境監査を実施して、環境管理の維持向上をはかります。
6. 環境に配慮した商品の購入の拡大を推進します。
7. お客様に車の環境情報を積極的に提供して、低燃費車、低公害車の普及をはかります。
8. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護活動に協力します。

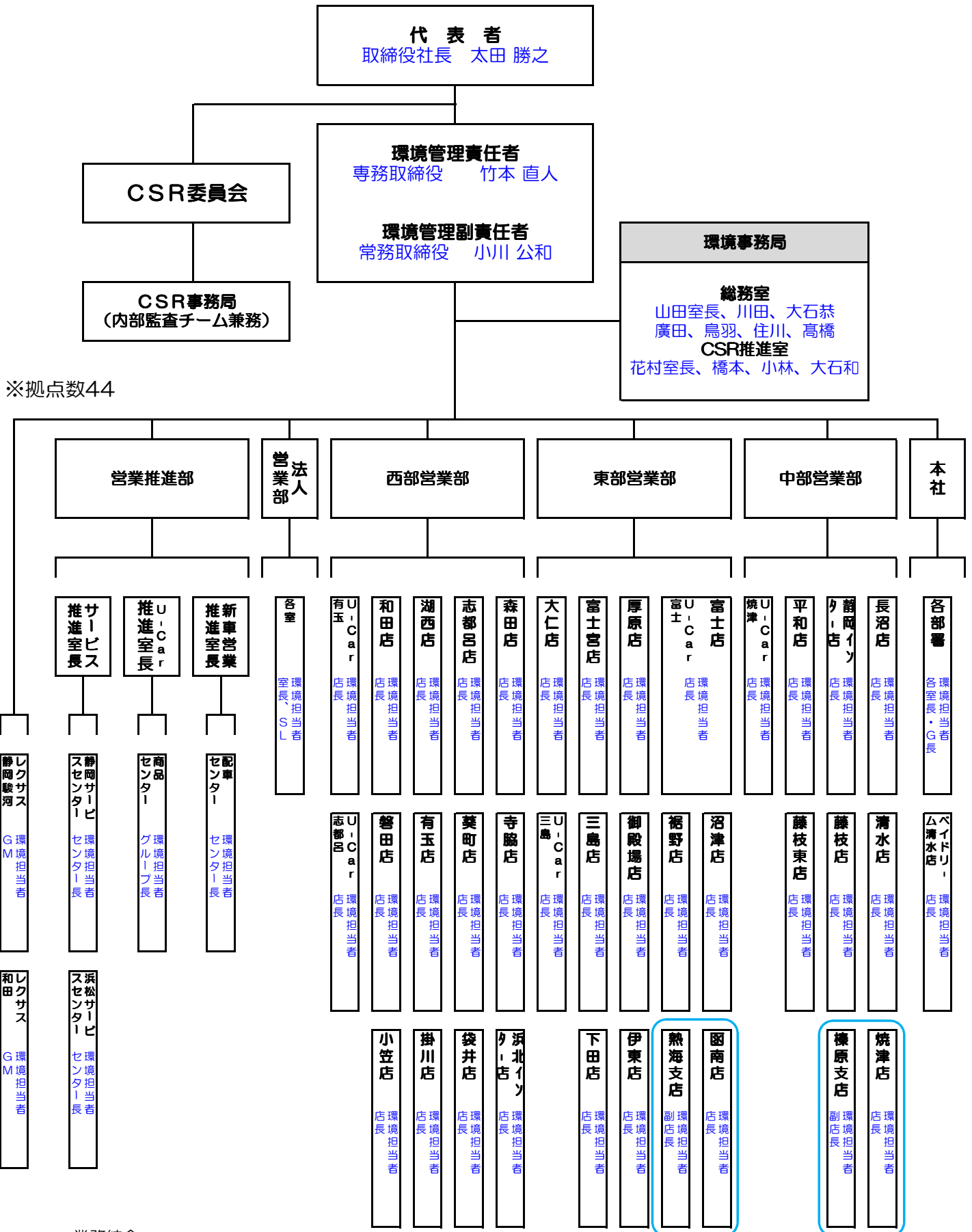
制定：2014年11月27日

静岡トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 **太田 勝之**



# 環境管理実施体制 (組織図)



※拠点数44



## 環境管理実施体制における役割



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者の準備</li> <li>環境課管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
CSR委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部監査の実施を受けて、精査見直しの実施</li> </ul>
CSR事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部監査の実施 (内部監査には日常の店舗パトロールを含む)</li> </ul>
環境管理責任者 環境管理副責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進における事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標・環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開（事務所に備けと地域事務局への送付）</li> </ul>
本社・統括部長・担当室長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本社、各部、各室部門の責任者</li> </ul>
環境担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門において環境経営システムの実施</li> <li>自部門において環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加</li> </ul>





# 環境目標と実績



		実績			
項目	単位	2018年度実績	2017年度実績(基準年)	2016年度実績	
省エネルギー	CO2排出量	t	3,095	3,360	3,471
	電力使用量	kWh	4,157,713	4,443,057	4,452,853
	都市ガス使用量	Nm <sup>3</sup>	19,765	25,915	25,763
	LPG使用量	kg	9,144	21,302	21,289
	ガソリン	L	326,997	309,955	284,876
	軽油	L	109,083	96,649	86,654
	灯油	L	866	1,216	1,087
水使用量	m <sup>3</sup>	36,902	38,006	39,296	
一般廃棄物排出量	t	110	372	182	
産業廃棄物排出量	t	1,412	1,421	1,445	
化学物質使用量	kg	10	11	77	
ハイブリッド車の販売比率	%	56.2%	54.1%	60.0%	
省燃費オイル交換の推奨	%	68.2%	63.0%	64.3%	

		目標			
項目	単位	2018年度目標	2019年度目標	2020年度目標	
省エネルギー	CO2排出量	t	3,192	3,158	3,125
	(削減率)	%	5%	6%	7%
	電気使用量	kWh	4,398,626	4,354,196	4,309,765
	(削減率)	%	1%	2%	3%
	都市ガス使用量	Nm <sup>3</sup>	25,656	25,397	25,138
	(削減率)	%	1%	2%	3%
	LPG使用量	kg	21,089	20,876	20,663
	(削減率)	%	1%	2%	3%
	ガソリン	L	306,855	303,756	300,656
	(削減率)	%	1%	2%	3%
	軽油	L	95,683	94,716	93,750
	(削減率)	%	1%	2%	3%
	灯油	L	1,204	1,192	1,180
	(削減率)	%	1%	2%	3%
水使用量	m <sup>3</sup>	37,626	37,246	36,866	
(削減率)	%	1%	2%	3%	
一般廃棄物排出量	t	372	372	372	
(削減率)	%	—	—	—	
産業廃棄物排出量	t	1,421	1,421	1,421	
(削減率)	—	—	—	—	
化学物質使用量	kg	11	11	11	
(適正管理を目標とする)	—	—	—	—	
ハイブリッド車の販売比率	—	—	—	—	
(適正比率を目標とする)	%	50%以上	50%以上	50%以上	
省燃費オイル交換の推奨	—	—	—	—	
(適正比率を目標とする)	%	60%以上	60%以上	60%以上	

※削減率、増加率の目標値は、2017年度実績に対する数値を記載。

※電力のCO2排出係数(2017年度の二酸化炭素排出係数)

中部電力(株)0.476kg-CO2/kWh、東京電力ホールディングス(株)0.462kg-CO2/kWh

※3カ年計画の為、目標値の改定は2021年度計画からとする。





# 環境活動計画



## 1 電気使用量の削減

### (1) 照明・空調機の使用ルール策定

①営業日の照明点灯時間は以下のとおりとする。

場 所	内 容
ショールーム	営業時間のみ点灯（お客様来店・来店予定時を除く）
事務所	営業時間外は極力スポット点灯 昼の時間帯は必要最小限
テクノショップ	使用時のみ点灯 昼の時間帯は消灯または必要最小限
看板・駐車場	11月～1月 16：00～営業時間
	2月～4月・8月～10月 17：00～営業時間
	5月～7月 18：00～営業時間（明るければ不灯）
	（防犯上必要な照明は除く）
その他のエリア	使用時のみ点灯

※異常天候時はお客様目線で店長判断により点灯

※休日は原則消灯（防犯上必要照明・タイマー設定箇所は除く）

②冷暖房機の使用は以下のとおりとする。

	使用期間	温度設定	
		ショールーム	事務所
暖房	12/1～3/31	22℃	20℃
冷房	7/1～9/30	26℃	27℃
任意	4/1～6/30・10/1～11/30	冷暖房の稼働を極力控える	

※異常天候等突発的な稼働時には、店長の判断で温度設定を決定する。

（温度計等を確認しながら、お客様目線で温度設定する）



温度計設置



照明・空調機ルール

- ③店舗ルールを作成、照明及び空調機周辺への使用ルール、担当者名を掲示
- ④ショールーム、事務所等に温度計設置
- ⑤LED照明、デマンドコントロール設置の店舗増設
- ⑥毎月、店長へ電気使用量、電気料金のフィードバック、前年との比較による傾向把握
- ⑦開店準備での、照明・空調機の一斉稼働禁止  
(電気基本料金の増加を回避するため)
- ⑧クールビズの実施(5月1日～10月31日まで実施)
- ⑨店舗で省エネ活動推進中であることをお客様に分かるように  
ウォームビズ・クールビズポスターを使ってアピールする
- ⑩CSR店舗監査実施(年2回実施)



省エネポスター

## 2 水道使用量の削減

### (1) 各拠点ごとの見える化と節水推進

- ①意識向上のため、月別水道量の前年度比を毎月書面にて配布、メールにて発信
- ②各蛇口・トイレ洗浄レバー付近に節水シールの貼付け
- ③トイレ・台所・手洗い場・洗車場に節水ポスター貼付け
- ④CSR店舗監査実施(年2回実施)



節水シール

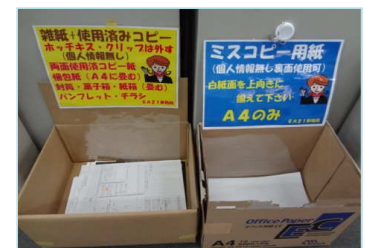
## 3 産業廃棄物排出量の削減

### (1) 分別の改善によるリサイクルへの促進

- ①全店舗の廃棄物処理方法調査での把握(業者との委託契約確認)
- ②社内ごみ分別ルールの策定、各店舗ごとに展開
- ③分別ルール掲示&実施
- ④事務局による拠点実施状況のチェックと指導
- ⑤機密文書等の基本ルール作成、適正な処理方法でリサイクルへの取組
- ⑥メール活用による電子化を促進(ペーパーレス)



ごみ分別



紙ごみ処理方法

## 4 ガソリン使用量の削減

### (1) 社用車、貸与車のハイブリッド車への変更

- ①入れ替え実行(随時)

### (2) お客様、社員に対するエコドライブ推奨

- ①ハイブリッドマスターによる、エコドライブアドバイス

## 5 環境事故未然防止

### (1) 少量危険物倉庫設置(貯蔵届出)

- ①38店舗設置(必要拠店は設置済み)

### (2) 油水分離層の管理

- ①副店長が週1回の点検実施(週の稼動1日目に実施)  
(店長店舗巡回確認シートチェック項目に追加)



少量危険物倉庫

## 6 化学物質の適正管理・グリーン購入・環境にやさしい商品・その他

### (1) 化学物質の管理(シンナー)

- ①サービスセンターでの使用量把握と適正管理

### (2) グリーン購入(アスクール商品内のエコマーク付事務用品購入促進)

- ①事務用品のリストアップで購入推奨

### (3) 社会貢献活動

#### ①静岡トヨタハイブリッド基金

- (ハイブリッド車販売の売上げの一部を環境活動団体へ寄付)

#### ②献血活動の促進

- ・積極的に献血協力している企業として「献血サポート」に認定

#### ③小中学生職場体験の受入

- ・H30年度は、33校・計95名の生徒さん受入実施

#### ④ハイブリッド・燃料電池講習

- ・消防署、タクシー会社、特約店、整備振興会などへの講習

#### ⑤エコキャップ活動(回収BOX設置、定期回収)

- ・H24年10月~H30年10月まで累計794,379個  
(ワクチン923名分 1人/860個)

#### ⑥AED設置

- ・15拠점에設置。日本赤十字社への登録。

#### ⑦店舗ボランティア活動の実施(1回/月 各店舗実施報告)

- ・公園、神社、商店街など公共性の高い場所の清掃  
・活動報告書を店舗内に掲示

#### ⑧地域環境活動に参加

- ・「トヨタソーシャルフェス」や「地域清掃活動」などに参加

#### ⑨こども110番の店

- ・こども達が巻き込まれる悲惨な事件が多発している事を受け、こども達が安心して暮らせる安全なまちづくりの推進を目的として実施されるもので、社団法人静岡県自動車整備振興会の呼びかけに賛同し、平成18年7月1日から参加、県内の店舗・サービスセンターにて展開しています



ハイブリッド基金贈呈



店舗ボランティア活動風景



トヨタソーシャルフェス参加



こども110番の店

## 7 環境配慮型製品の積極的な推販

### (1) ハイブリッド車の販売促進

- 新車ハイブリッド車販売比率50%以上を目標  
(ハイブリッドの静岡トヨタをアピール)
- 中古車両についてもハイブリッド車販売促進  
(T-Value HV)



### (2) 省燃費オイル及び関連商品を積極的に推販する

- 省燃費オイル交換比率60%以上を目標
- オイル添加剤などの関連商品推販
- オートマ/CVTフルードの交換推販
- エアコンオイル添加剤の促進



### (3) 省燃費タイヤの販売推販

### (4) あんしん点検、法定点検の推進

- ご来店型の入庫を促進 (来店割引制度)
- ウェルカムサポート促進

### (5) 環境に配慮したシンナーの使用

- 塗料の粘土調整剤を第1石油類のシンナーから第2石油類のスタビに変更し環境に配慮
- 洗浄用シンナーとシリコンオフ (脱脂剤) を第1石油類から第2石油類の物に変更し環境に配慮
- 水性塗料の一部導入



## 環境活動の取組み結果



項目	単位	2017年度 実績（基準年） (17/4-18/3)	2018年度 運用期間目標 (18/4-19/3)		2018年度 運用期間実績 (18/4-19/3)		評価	
		数値	数値	削減率	数値	削減率		
省エネルギー	CO2排出量	t	3,360	3,192	5 %	3,095	8 %	○
	電気使用量	kWh	4,443,057	4,398,626	1 %	4,157,713	6 %	○
	都市ガス 使用量	Nm <sup>3</sup>	25,915	25,656	1 %	19,765	24 %	○
	LPG 使用量	Kg	21,302	21,089	1 %	9,144	57 %	○
	ガソリン	L	309,955	306,855	1 %	326,997	▲ 5 %	×
	軽油	L	96,649	95,683	1 %	109,083	▲ 13 %	×
	灯油	L	1,216	1,204	1 %	866	29 %	○
水使用量	m <sup>3</sup>	38,006	37,626	1 %	36,902	3 %	○	
一般廃棄物 排出量	t	372	372	—	110	—	—	
産業廃棄物 排出量	t	1,421	1,421	—	1,412	—	—	
化学物質使用量	Kg	11	11	—	10	—	—	
ハイブリッド車 販売比率	%	54.1	50%以上	—	56.2	—	○	
省燃費オイル 交換比率	%	63.0	60%以上	—	68.2	—	○	

※削減率、増加率の目標値は、2017年度実績（基準年）に対する数値を記載。

※電力のCO2排出係数（2017年度の二酸化炭素排出係数）

中部電力(株)0.476kg-CO<sub>2</sub>/kWh、東京電力ホールディングス(株)0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWh





## 環境活動の評価及び次年度の取組



項目	削減率		2018年度 (2018.4~2019.3)	次年度の取組
	目標	実績		
CO2排出量	5%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年度、店舗の移転及び店舗、本社研修センターにおいて、LED照明器具入替や省エネ空調機へ設備更新を行うなどの設備面で、改善取組みを行った</li> <li>・会議時に電気、水道使用状況の実績値を継続公表し見える化及び定期的にアナウンスする事で、社員の意識付けを行う事ができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSR店舗監査において、取組状況確認を行う</li> <li>・事務局による定期的な店舗巡回で指導・管理を行う</li> </ul>
電力 使用量	1%	6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明、空調機の稼働ルールを策定展開、店舗内に温度計設置</li> <li>・実績値、前年比を会議時に公開を行い、見える化する事により節電意識が向上</li> <li>・LED照明等の省エネ器具への切替を積極的に実施</li> <li>・遠鉄グループメリットによる西部地区基本料金の削減</li> <li>・経年劣化家電の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSR店舗監査項目での、節電ルール実施状況の確認</li> <li>・計画的にLED照明入替の継続実施</li> <li>・積極的に省エネ家電に入替の継続実施</li> <li>・事務局による定期巡回の実施</li> </ul>
都市ガス 使用量	1%	24%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気温水器への変更による削減と電気・水道使用量同様に、削減意識が高まっている</li> <li>・目標1%に対し取組みの推進を行い、24%と大幅に削減</li> <li>・サービスセンターにおいて、塗装ブースでの作業効率化により、削減が図れた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス使用状況を確認し電気温水器への計画的な変更の継続実施</li> <li>・サービスセンターについては、塗装ブース使用状況の再確認を行う</li> </ul>
LPG 使用量	1%	57%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気温水器への変更による削減と電気・水道使用量同様に、削減意識が高まっている</li> <li>・目標1%に対し取組みの推進を行い、57%と大幅に削減</li> <li>・店舗閉店に伴うガス廃止、サービスセンターにおいて、塗装ブースでの作業効率化により、削減が図れた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス使用状況を確認し電気温水器への計画的な変更の継続実施</li> <li>・サービスセンターについては、塗装ブース使用状況の再確認を行う</li> </ul>
ガソリン	1%	-5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社用車・貸与車の入替時期には、ハイブリッド車に入替実施</li> <li>・運転時に、エコドライブを心がける事ができた</li> <li>・新型クラウン発売に伴う、試乗車増・モニター試乗・走行会イベント等の推販強化により燃料使用が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッド車へ入替を継続的に行う</li> <li>・エコドライブ教育を継続的に行う</li> </ul>
軽油	1%	-13%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人営業部、サービスセンターにおいて、積載車での移動距離及び稼働の増大に伴い、燃料使用量が増加。</li> <li>・積載車及び試乗車の増加に伴い、燃料使用量が増加</li> <li>・ランドクルーザープラドディーゼル車販売に伴う試乗車増車による燃料使用量の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガソリン車同様にエコドライブに心掛けるよう指導を行う</li> </ul>
灯油	1%	29%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧洗浄機とジェットヒーター（工場使用）で使用</li> <li>・意識向上による必要最小限の使用により削減を図った</li> <li>・ウォームピズ実施による個々の寒さ対策推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備内容や外気温により使用状況が変わる為、必要最小限の使用に心掛けるよう継続的なアナウンスを行う</li> </ul>

項目	削減率		2018年度 (2018.4~2019.3)	次年度の取組
	目標	実績		
水使用量	1%	3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水表示を行った結果、節水意識が向上できた</li> <li>・実績値・前年比を会議時に公開での見える化により節水意識が向上した</li> <li>・洗車機の稼働速度の変更など必要最小限の使用による削減を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSR店舗監査項目での、節水ルール実施状況の確認実施</li> <li>・事務局による定期巡回の継続実施</li> </ul>
一般廃棄物排出量	適正管理	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物の排出について、状況確認を行い、ごみの分別を促進し、排出量削減を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物排出ルールの策定を行い排出量の削減に取り組んで行く</li> <li>・事務局による定期巡回の継続実施</li> </ul>
産業廃棄物排出量	適正管理	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の分別方法のルール策定し、分別認識を高める事ができた</li> <li>・各店舗に、わかりやすい分別表記、パネルの設置を行い分別意識向上を行う事ができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSR店舗監査項目での、廃棄物分別実施状況の確認の徹底</li> <li>・事務局による定期巡回の実施</li> <li>・分別表記を行う店舗を拡大していく</li> </ul>
化学物質使用量	適正管理	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮したシンナーへの変更により、化学物質使用量が削減することが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理方法を策定し、使用量を適正管理の継続実施</li> </ul>
ハイブリッド車販売比率	50%以上	56.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの販売意欲も上がり積極的な推販をしている。又、お客様の認知度も向上し、購入意識が高まりつつある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もハイブリッド車の販売比率を維持できる様、取組みを推進していく</li> </ul>
省燃費オイル交換比率	60%以上	68.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省燃費オイルのメリットや金額など、お客様への説明を適切に行う事が出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も省燃費オイルの交換比率を維持できる様、取組みを推進していく</li> </ul>





環境関連法規制の順守状況及び違反、訴求等の有無



1. 当社に適用となる主な環境関連法規制等

	法令等の名称	適用される要求事項	該当の有無
大気	フロン排出抑制法	定期点検、適正な回収	○
	自動車NOX・PM法	自動車排出窒素酸化物等の排出抑制に努める	○
水	水質汚濁防止法	特定施設の設置届出（門型洗車機）	○
	下水道法	下水道への不適物放流禁止の遵守	○
質	浄化槽法	設置または変更時の届出 保守点検 定期検査（年1回の水質検査実施）	○
廃棄物	廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理 マニフェスト交付状況の報告 収集・運搬業・処理委託業者との契約締結	○
	静岡県・静岡市・浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	各処理委託業者の現地確認 現地確認の記録保存（5年間保管）	○
振動・騒音	騒音規制法	規制基準の遵守 騒音発生施設の設置届出	○
	振動規制法	規制基準の遵守 振動発生施設の設置届出	○
再資源化	自動車リサイクル法	自動車の所有者の責務 自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	○
	家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の処理	○
科学物質・危険物	PRTR法	指定科学物質の取扱い等自主管理	○
	消防法	保管量の遵守	○
		保管方法、設備の遵守	○
	高圧ガス保安法	高圧アセチレンガスボンベの取扱い	○
労働安全衛生法	化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止処置	○	
エネルギー	省エネ法	連鎖化事業所としての特定事業者指定と削減計画の策定	○

2. 環境関連法規の違反、訴訟等

当社は、自社の遵守状況評価で問題がないことを確認しました。

なお、環境関連法規への違反もありませんでした。

関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。



## 代表者による全体評価と見直し



2015年9月「エコアクション21」の認証取得より4年が経過しました。2018年度における環境負荷低減に向けた取組みの内容を検証します。

### ●2018年度取組み評価

当社独自の節約に向けた取組みも全社に浸透し、日々の業務を通じて社員一人ひとりが、環境負荷低減に向け取組みを行いました。

クラウンを始めとする新型車の発売、販売活動強化により、燃料使用量は2017年度と比較して増加しました。しかし、会社の取組みと社員の努力の積み重ねにより、電気・ガス・灯油の使用量において大幅な削減ができ、結果CO2排出量の環境目標を達成することができました。

会社の取組みとして、LED照明への切替や省エネエアコンの定期入替など、設備投資を継続的に実施。又、各店舗に対してはゴミ分別一覧表を展開し、ルールの見える化により一般ゴミの総排出量低減や社内決裁書類等の電子化により、紙使用量削減に向けた取組みを行っております。

引き続き、社内取組みの定着と共に、店舗格差是正を図り、エコアクション21取組活動の推進強化を図って参ります。

### ●環境方針・目標等の見直しについて

社員一人ひとりの意識と計画的な設備投資により、継続した環境負荷低減の取組みにより成果が現れております。今後、全社員による創意工夫により、さらに環境負荷低減を図り、改善に取組む必要があります。

CSRについても、社内ルールが浸透し法令を遵守する風土は培っておりますが、日々の業務を通じ改善意識を持って改善を図って参ります。

### ●総括

自動車が環境に与える影響は大きく、自動車販売会社にとって環境負荷低減に取組むことは私達の社会的責務であると考えます。

自動車業界は100年に一度の大変革を迎えている中、全従業員が自己成長をしながら共通認識として、安定した収益体質の実現と共に、環境負荷低減に対しても更なる高い意識を持ちながらエコアクション21の取組みを行います。今後もお客様から【選ばれ、認められ、喜ばれる】地域社会から【信頼される】企業を目指して参ります。

制定： 2019年 7月 5日

静岡トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 **太田 勝之**



®環境省

**エコアクション21**  
認証番号 0010807

## 環境経営レポート（2018年度）

運用期間 2017年4月～2018年3月

発行 2019年 7月 5日

静岡トヨタ自動車株式会社 EA21事務局

〒422-8515

静岡県静岡市駿河区国吉田2丁目3-1

TEL : 054-264-7014

FAX : 054-264-7107

URL : <http://www.shizuokatoyota.co.jp>

### 改定管理表

初版	2015年6月
第2版	2016年7月
第3版	2017年6月
第4版	2018年6月
第5版	2019年7月